

様式 F-9 [記入例]

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究分担者変更承認申請書

平成24年12月12日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

〇〇大学・〇〇研究科・教授 〇〇 〇〇 [印]

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））について、下記のとおり研究分担者を変更したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 課題番号 2 4 2 3 4 5 6 7

2. 研究課題名 〇〇の××に関する総合的研究

3. 交付決定額

合 計	5,460,000 円
直接経費	4,200,000 円
間接経費	1,260,000 円

4. 補助事業期間 平成24年度～平成27年度

5. 補助事業者及び役割分担

		変更前（旧）				変更後（新）						
研究代表者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究代表者	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職					
	1 0 7 6 5 4 3 2	1 2 3 4 5 5 × ×	2 0	1 0 7 6 5 4 3 2	1 2 3 4 5 5 × ×	2 0	〇〇 〇〇	〇〇大学・〇〇研究科・教授				
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）					
	研究の総括とモデル化	2,800,000 円				研究の総括とモデル化	2,500,000 円					
研究分担者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究分担者	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職					
	2 0 8 7 6 5 4 3	1 2 3 4 5 5 × ×	2 8	▲▲ ▲▲	〇〇大学・〇〇学部・助教							
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）					
	▲▲資料の構成と分析	800,000 円				▲▲資料の構成と分析	800,000 円					
研究分担者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	削除	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職					
	1 0 9 8 7 6 5 4	1 2 6 8 0 6 × ×	2 7	△△ △△	●大学・●学部・准教授							
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）					
	●●に関するシミュレーション	600,000 円				●●に関するシミュレーション	200,000 円					
研究分担者	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究者番号	機関番号		部局番号	職番号	研究分担者の追加の場合	
	氏名	所属研究機関・部局・職				氏名	所属研究機関・部局・職					
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）				役割分担	直接経費（研究者別内訳）					
		円				●●に関するシミュレーション、〇〇のモデル化	700,000 円					

変更なしの場合

研究分担者の削除の場合

研究分担者の追加の場合

6. 事実発生（予定）年月日及び変更理由

(1) 事実発生（予定）年月日

研究分担者の削除：平成24年12月31日

研究分担者の追加：平成25年1月1日

(2) 研究分担者の変更が生じた理由

(所属機関を変更する場合には、応募資格の有無も記載すること。)

研究分担者の削除： 研究分担者である△△△△は、平成25年1月1日付で米国〇〇研究所へ異動する予定であり、科研費の応募資格を喪失するため。

研究分担者の追加： 研究分担者から外れる予定である△△△△の行っていた〇〇の調査について、代わりに実施するため。

7. 確認事項

(1) 研究分担者を削除しても研究計画の遂行に支障がない理由（削除の場合のみ）

(以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。)

- ・ 外そうとする研究分担者の役割分担
- ・ 外そうとする研究分担者の承諾の有無（研究分担者が欠けた場合を除く。）
- ・ 当該分担部分の代替手段（役割分担や研究計画の変更等）
- ・ 補助事業期間全体を通じた研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由

従来、△△△△が行っていた〇〇の調査は、新たに追加する予定の〇〇の専門家である●●●●が実施する予定であり、研究計画の遂行には支障がない。なお、本人の承諾は得ている。

(2) 新しく研究分担者として追加する者の適格性（追加の場合のみ）

(以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。)

- ・ 追加しようとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担者を追加する必要性
(追加することで得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等)
- ・ 追加しようとする研究分担者の承諾の有無
- ・ 承認後から分担金を使用可能であることの認識の有無

新しく研究分担者として追加する●●●●は、△△△△と同じ分野の研究者であり、〇〇の調査と類似の△△の調査において既に実績があり、また〇〇など優れた〇〇をあげており、研究分担者として適任である。なお、本人の承諾は得ている。分担金の執行についても、承認後である旨承知している。